

# 青森県職員の給与と職員数のあらまし

県では、人事行政を運営するに当たっての公正性・透明性を高めるため、人事行政の概要を公表しています。公表内容の中から、県職員の給与と職員数のあらましをお知らせします。

## 給与

職員の給与は、県内民間事業所の給与実態などの調査結果に基づく県人事委員会の勧告を受け、国や他の地方公共団体との均衡を考慮しながら、県議会の審議を経て、条例で定められています。

なお、現在、財政改革の取り組みの一環として、管理職員の給料月額(5～3%)が減額されて支給されています。

### ●職員の初任給与と平均給料月額状況

(平成21年4月1日現在)

区分	学歴	初任給月額	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	大学卒	172,200円	354,500円	44.3歳
	高校卒	140,100円		
警察職	大学卒	187,500円	345,500円	41.8歳
	高校卒	158,100円		
高校教育職	大学卒	192,800円	393,700円	45.5歳
小・中教育職	大学卒	192,800円	387,500円	44.2歳
技能労務職	高校卒	137,200円	317,400円	46.8歳

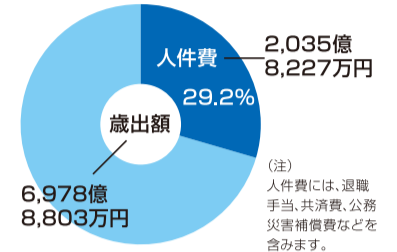
### ●知事や県議会議長などの給料・報酬月額状況

(平成21年4月1日現在)

区分	給料・報酬の月額	備考
知事	1,016,000円	給料20%削減中
副知事	873,000円	給料10%削減中
県議会議長	議長	864,500円 議員報酬5%削減中
	副議長	777,600円 議員報酬4%削減中
	議員	756,600円 議員報酬3%削減中

### ●人件費の状況

(平成20年度普通会計決算)



## 職員数

### ●部門別の職員数の状況

(各年4月1日現在)

区分	職員数		
	平成20年	平成21年	増減
一般行政部門	4,598人	4,298人	▲300人
教育部門	13,377人	13,118人	▲259人
警察部門	2,618人	2,601人	▲17人
公営企業等会計部門	887人	1,031人	▲144人
合計	21,480人	21,048人	▲432人

(注) 公営企業等会計部門の職員数の増加は、県立病院の看護体制などの充実強化によるものです。

### ●定員適正化の状況

職員数については、数値目標を設定し積極的に適正化を進めています。一般行政部門を例にとりますと、平成16年度から平成20年度までの5年間に800人(15%)の職員を削減する計画に対して、925人の職員を削減しました。また、新たに、平成21年度から平成24年度までの4年間に340人を削減する計画に取り組んでいます。

詳しくは、人事課、県政情報センター、各合同庁舎の地域住民情報コーナーのほか、ホームページ(<http://www.pref.aomori.lg.jp/kensei/shokuin/j-gyosei.html>)でもご覧になれます。

人事課 ☎017-734-9047

県では、県民のチャレンジ精神あふれる「生業※」づくりを応援しています。

Vol.3 三八地域編

# 生業づくりへのチャレンジ

「ものづくり産業」の基礎は「人づくり」

青森県基本計画

## 未来への挑戦

情熱あふれるふるさと青森づくり

※生業(なりわい)とは、本来、「生計を立てていくための仕事」という意味ですが、基本計画では、「県民一人ひとりの経済的基盤」という新たな意味を加え、生業(なりわい)づくりにチャレンジしていくこととしています。

### ものづくり「塾」開講!

### 三八地域のものづくり産業

北東北の代表的な「ものづくり産業」の拠点である三八地域。  
三八地域県民局では、当地域のものづくり産業を応援するさまざまな取り組みを行っており、その一つが、現在そして未来のものづくり産業を支える「人づくり」です。

三八地域県民局では、高校生や社会人が参加する生産改善の実践講座を開催しています。  
この講座は、大声であいさつする「モラル訓練」に始まり、これにより参加者のやる気と積極性を高めます。

その後、実際に地域企業の製造現場に赴き、コンサルタントの助けを借りながら、生産改善実習を行います。生産改善は製造現場においては「カイゼン」と呼ばれており、人や設備あるいは生産のしくみのムダを見つけているもので、元々はトヨタ自動車を取り組んだ生産性向上を目指した活動です。この実習で高校生は生産改善の面白さを体験しながら就業意識を高め、社会人は自分が勤める職場のムダに気付くことができます。

### 人財が支えるものづくり

参加した高校生からは「自分たちのアイデアで実際の職場が改善されるのを見て、力になったことに感動した」、「将来に具体的な目標ができた」、また社会人からは「自分の職場の生産改善に生かしたい」といった声が寄せられています。

こうした「人づくり」の成果が、個々のやる気や能力を高めるだけでなく、地域企業に人財が集まり、企業の技術力の向上や経営改善を押し進める原動力になっていきます。

ものづくり産業を支えるのは地域の人財とその人たちの気付きとやる気です。

「生業」づくりに向け、まだ気付いていない強み、眠っている宝を見つけていこうからやってみましょう!

※人財：青森県基本計画「未来への挑戦」では、人は青森県にとっての財(たから)であるという基本的考え方から「人」人材などを人財と表しています。